

まずは一度、お気軽にお出かけ賜り、月例会の様子を御覧下さいませよう。

十月例会 御案内 (平成二十九年・通算第三六八回)

時代を刷新する会

○ 御案内

十月十三日(金) 正午〜午後2時半 参議院議員会館 一階 一〇二会議室

講題 分極世界における日本の選択!

講師 高橋利行先生(政治評論家、元読売新聞東京本社論説委員・編集局次長・監査委員長)

◎ 平成二十九年九月二十五日、国連から帰国した安倍総理は、同二十八日に開会する衆議院の冒頭で衆議院解散・総選挙を宣言。十月十日に公示、二十二日に投票という方向が決まりました。

これに対して、野党の多くは大義なき解散である、特に施政方針表明もなく冒頭解散すること

は国会の軽視であるなどと攻撃しています。安倍総理はそれに反論して、北朝鮮の核・ミサイル

の脅威による「国難突破解散」とし、平成十九年秋の消費税の増税分はすべて社会保障へと回す

などの政策を表明しております。国会の冒頭での解散も過去三回あるのも事実で、こうした与・

野党の主張対立に、投票する国民がどう反応するのか、予断がむずかしいところでは

総選挙の当選者予想は、新聞・雑誌・テレビなどに任せればすむことです。問題は、今の情勢

で、自民党・公明党に対して、維新の会、小池百合子代表の「希望の党」、そして民進、共産、

その他の小党の連携具合により対極化しうるのか。また、世界も分極化の様相を呈しております。

そこで、そうした判断ができる高橋利行先生に、ご解説をいただきます。奮っての御参加を!

□ 当日会費 会員四千元、非会員五千元 午前十一時半から入館可能です。(清原記)

時代を刷新する会 当日連絡先 080-8836-6203 重田

十月十三日(金)の月例会云々 080-9292-2620 高津

(通話のみ)

出席 欠席 (いずれかに○印を) <http://www.jidaisassin.jp>

御芳名 貴方様のFAX

メール 電話 03-3272-4320

FAX 03-3507-8587

メール

▽十月十一日(水)までに欠の御連絡賜りたく。

○ 御報告

去る九月六日(水)の月例会は、北朝鮮が、水爆の実験と称する核爆発を行い、また、各種のミサイルを日本海ばかりではなく日本列島の頭越しに太平洋へ発射するなど、緊迫した事態を招いている折から、防衛省当局が『今年の防衛白書』を発刊されたので、防衛省へその解説を願いました。

当日、その防衛白書の編集を担当した部署・大臣官房企画評価課の小野功雄課長がそのスタッフとともに来席され、防衛白書の要点を、図表と写真を中心にまとめたカラフルな冊子を配付して、詳しく御解説を下さり、大層勉強になりました。

その要旨を記すと、まず北朝鮮情勢として、核については昨年九月に五回目の核実験を行い、核の小型化・弾頭化にも成功し、この九月三日には水爆実験まで行うなど、核兵器開発が進んでいる。ミサイルも長射程化が進み、ロフテッド軌道(二〇〇〇kmをこえる高度)化にも成功し、ICBM(大陸間弾道)にもほぼ成功している。

中国については、公表国防費はこの一〇年間で三倍となり軍事力が急速に拡大している。南沙海の岩礁を埋立・基地化をすすめる、わが国の尖閣諸島や東シナ海への海空からの圧力ばかりか沖繩はじめ南西諸島、そして日本海への中国海軍の進出も頻繁化している。

それだけに、日本としては日米同盟の強化が必要であり、特にミサイル防衛の整備が当面の課題である。またサイバー攻撃への対策も急ぐ必要がある、等々切実なものがあり、参加者一同、問題の深刻さに慄然としました。(清原記)

▽ 「時代を刷新する会」とは、

「何事も人類・国民のためになることには、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元衆議院議長。第四代・塩川正二郎元文部大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・前外務副大臣が就任してあります。岸信夫衆議院議員は、当団体の創業者・岸信介元総理の直系の孫に当たります。

▽ 事務局電話 (03) 3272-4320 専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介